



第3回 看護師のための認知症ケア講座 開催のご案内

2025年には、認知症高齢者は約700万人に上ると言われ、実に65歳以上の5人に1人が認知症を持つと言われています。認知症は誰もが身近な病気であり、超高齢社会を迎えた日本では、医療・介護の従事者は全員、認知症ケアのプロであることが求められるようになるでしょう。このような背景から、今般の平成28年診療報酬改定では認知症ケア加算が新設され、医療保険でも身体拘束廃止に向けての取り組みがようやく本格的に進められようとしています。認知症は、医療関係者のみでなく地域としても対応しなければならないものですが、その要となるのは看護師の皆様です。本講座では、認知症を知り、認知症をもつ人と向き合い、多職種チームでよりよいケアを提供できるよう、看護師の皆様に焦点を絞った研修の第3回を関東にて行います。奮ってご参加くださいますようお願い致します。

プログラム (予定)

【1日目】7月29日 (金)

Table with 2 columns: Time and Content. Rows include: 12:55-13:00 開講挨拶; 13:00-14:20 認知症の原因疾患と病態・治療 (講師: 熊谷頼佳); 14:30-17:00 入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術 (講師: 田中志子); 演習: 認知症のある患者の実際の様子をビデオを用いて数症例提示し、その患者に対するアセスメントの情報として求められているものは何か、また、必要な援助技術は何かを考える

【2日目】7月30日 (土)

Table with 2 columns: Time and Content. Rows include: 9:00-11:20 コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法 (講師: 戸谷幸佳); 演習: 重度認知症の困難症例を提示し、コミュニケーションのとり方、医療チームでの対応の仕方などを、ディスカッションをとおして考える; 11:30-14:00 行動・心理症状 (BPSD)、せん妄の予防と対応法 (講師: 田中志子); 演習: BPSD、せん妄の対応の困難事例についてディスカッションをとおして考える; 14:10-15:30 認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援 (講師: 桑名斉先生); 15:30 閉講